

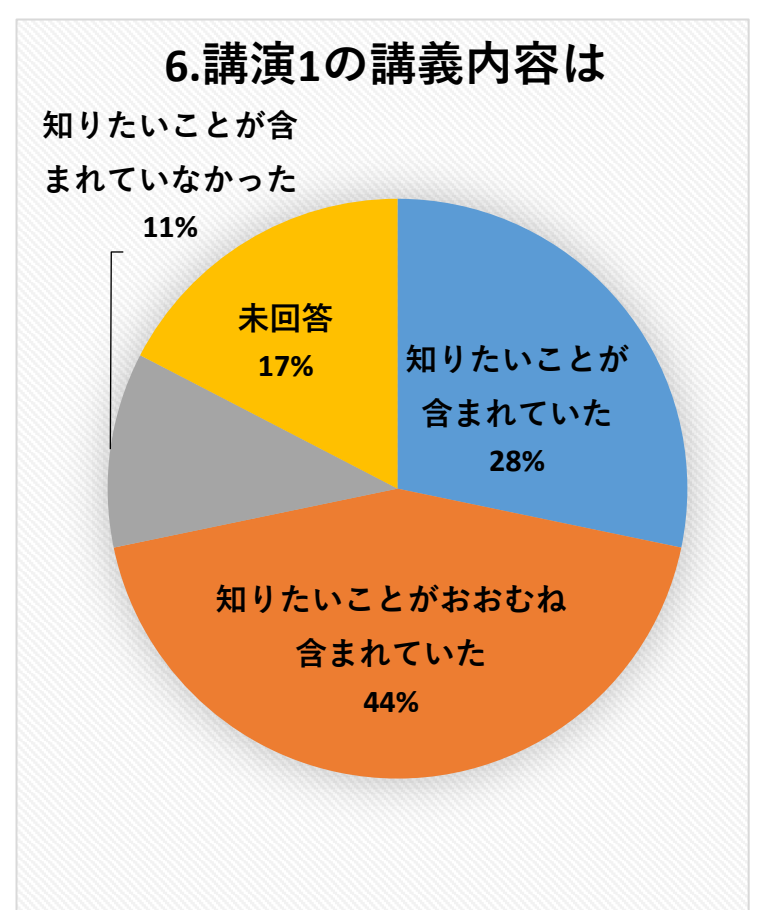
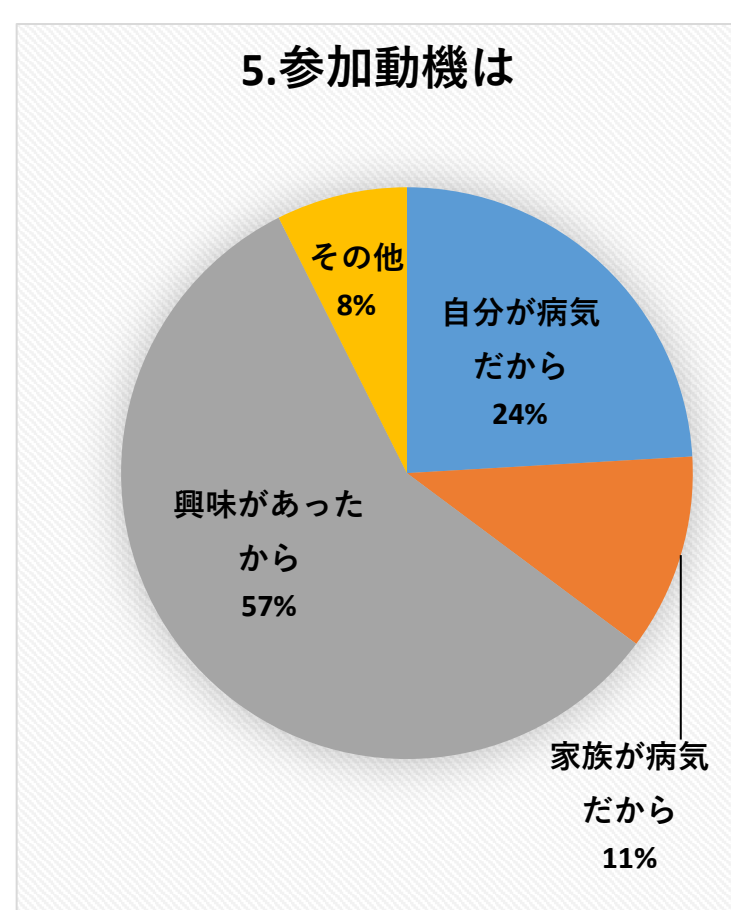
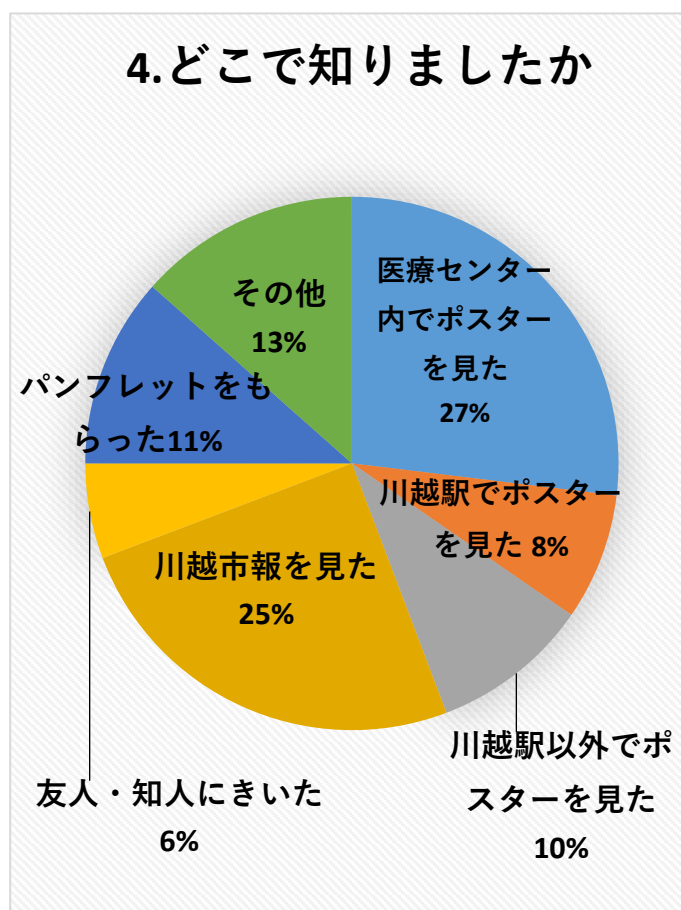
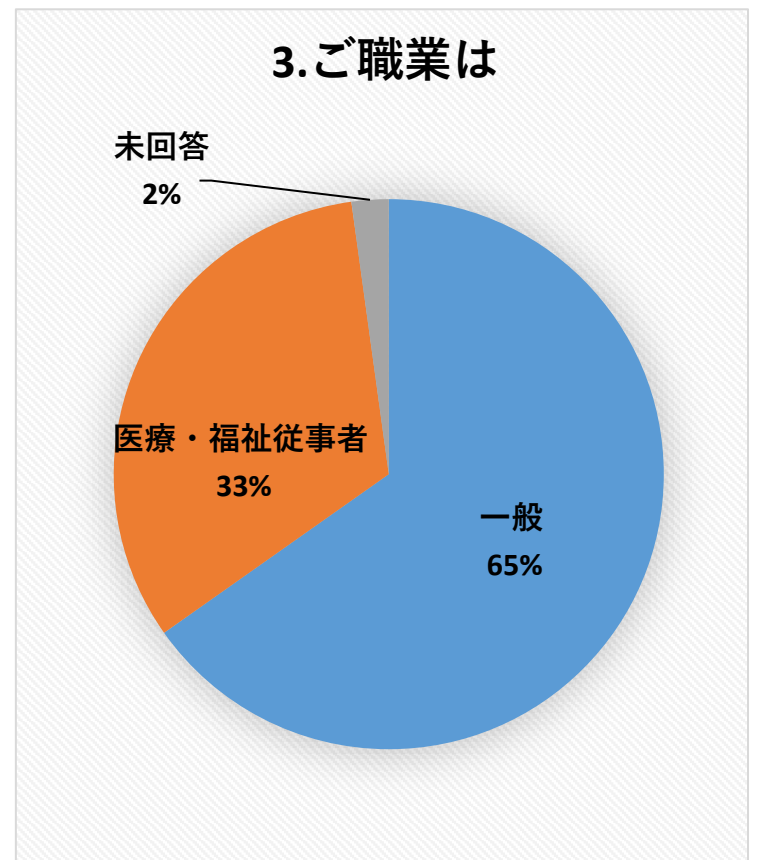
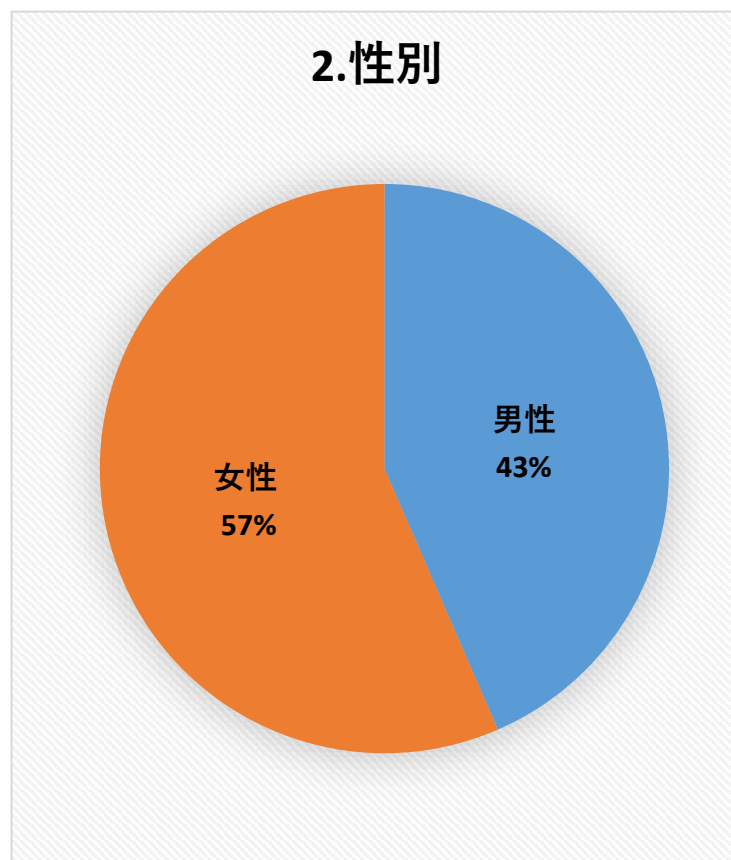
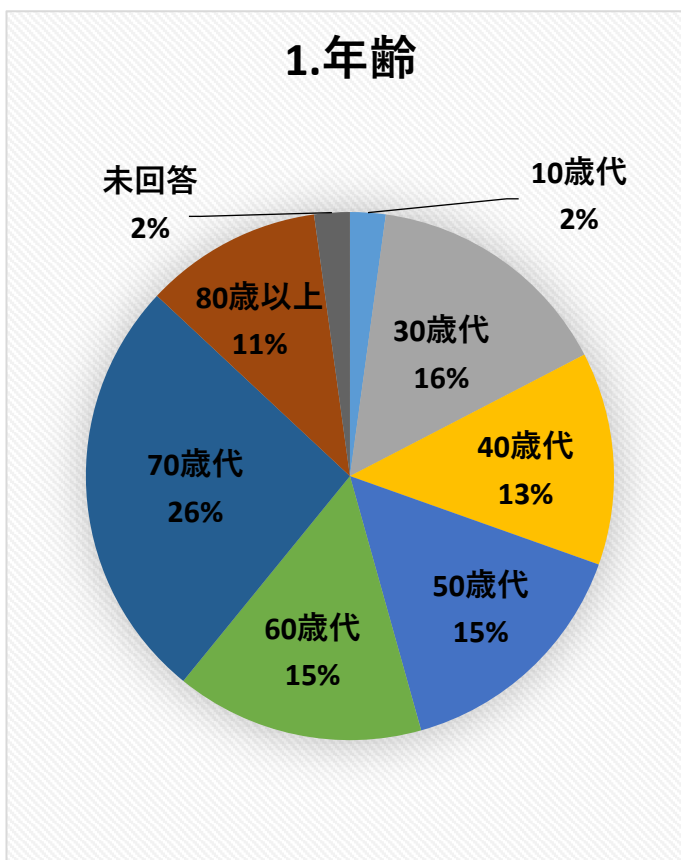
令和元年8月10日（土）、かわごえクリニックにおいて、第11回地域がん診療連携拠点病院・埼玉医科大学総合医療センター市民公開講座が開催されました。今回のテーマは、最近話題のがんゲノム医療でした。

石田院長補佐による開会挨拶と地域がん診療連携拠点病院とがんゲノム診療連携病院についての説明の後に、鈴木興秀先生（当院ゲノム診療科講師）により埼玉医科大学総合医療センターにおける現在のがんゲノム診療体制の紹介がされました。引き続き、金沢大学附属病院 遺伝診療部部長 特任教授の渡邊淳先生より「ゲノム情報を医療や健康管理に活用するには。-検査前から知っておくこと、検査後に誤解・心配がないように」のタイトルでご講演を頂きました。渡邊先生には、ゲノムについての説明の後に、ゲノムの変化により生じる病気・検査・得られる情報の関係について表を用いてわかりやすく解説して頂きました。講演の概略は、次の通りです。ゲノムとは、遺伝子をはじめとした遺伝情報全体をいいます。ゲノム情報は体をつくるための設計図のようなものです。それらを網羅的に調べ、その結果をもとにして、より効率的、効果的に病気の診断と治療などを行うのがゲノム医療です。遺伝子検査で得られた情報は、治療効果の予測に有用であり、さらに、予防など将来活用できる内容と家族に関わる遺伝情報が含まれます。このため、検査を受ける前に、その目的と気になる点をしっかり整理して、充分理解したうえで検査を受けることがとても重要です。そして、ゲノム医療情報は日々新しくなっていますので、関心を持ちながらも、わからないことや気になることがあれば、遠慮せずに、担当医や遺伝カウンセリング、がん相談支援センターを活用し、相談していくことが大切とのことでした。

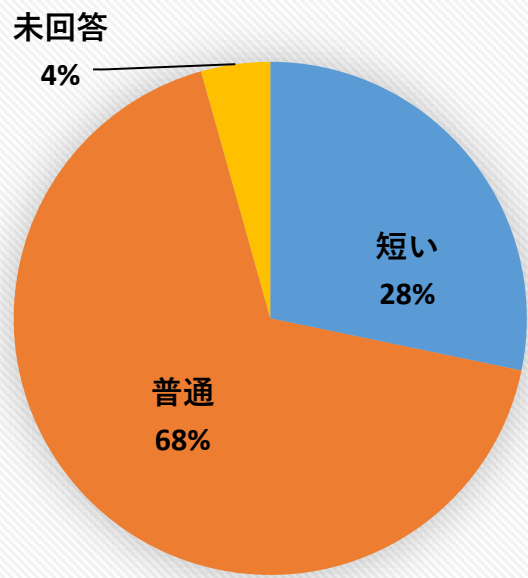
当日は、酷暑の中ご参加頂き誠にありがとうございました。
次にアンケート集計結果をご報告させていただきます。

第11回市民公開講座アンケート結果

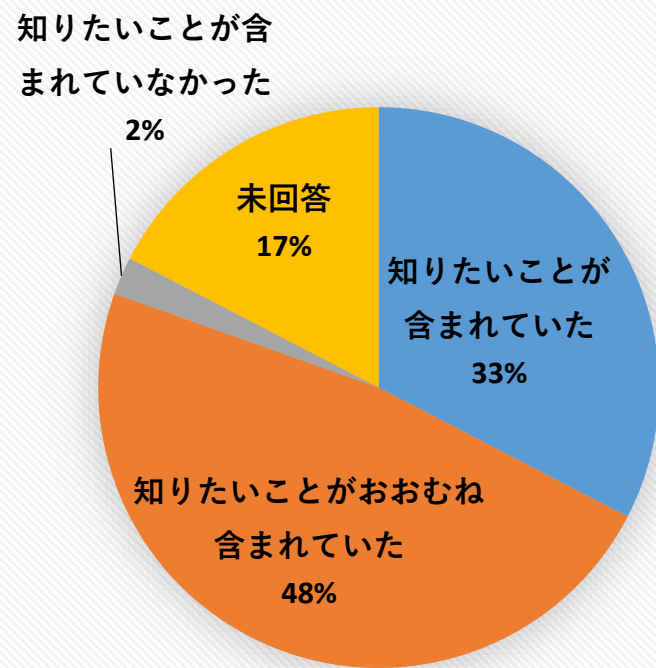
参加人数：50人 アンケート回答人数：46人
回収率：92%



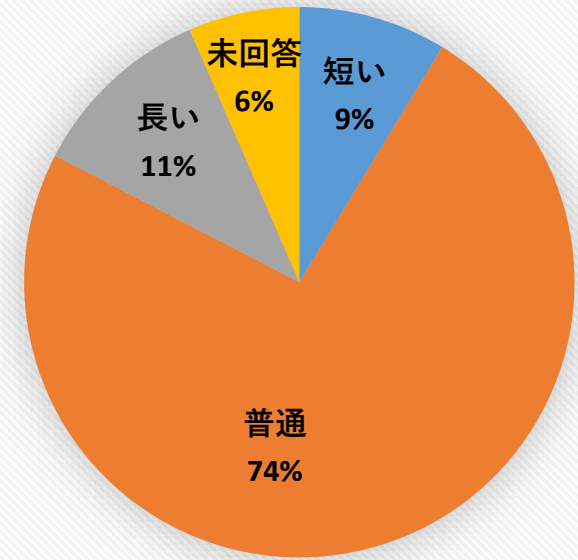
7. 講演1の時間は



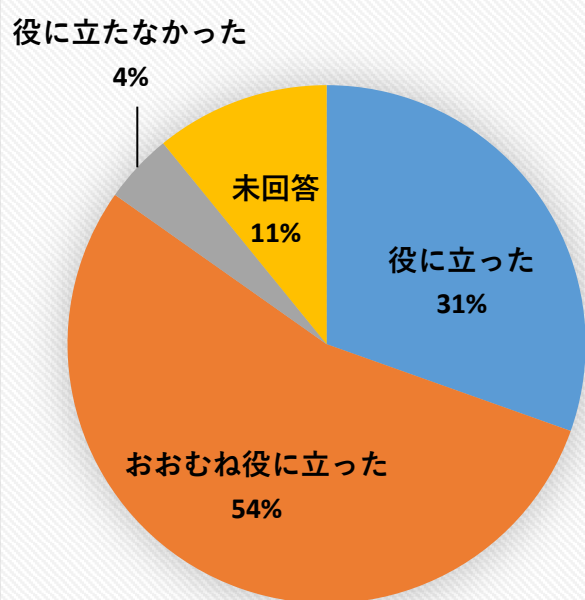
8. 講演2の講義内容は



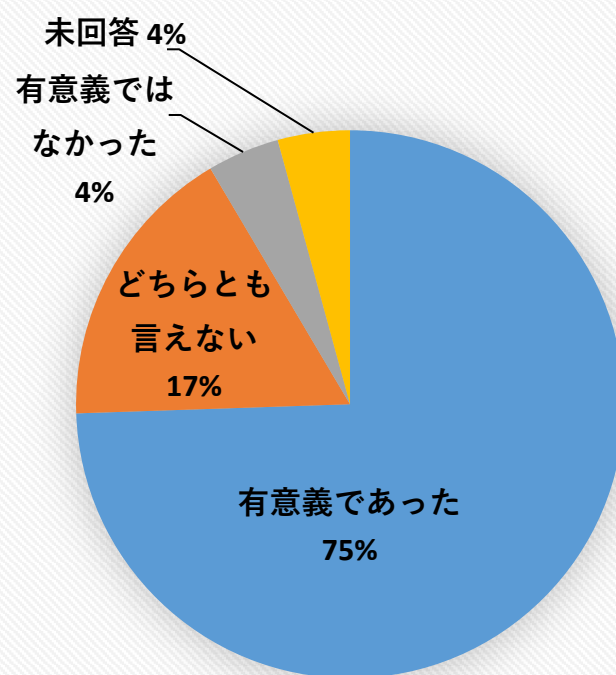
9. 講演2の時間は



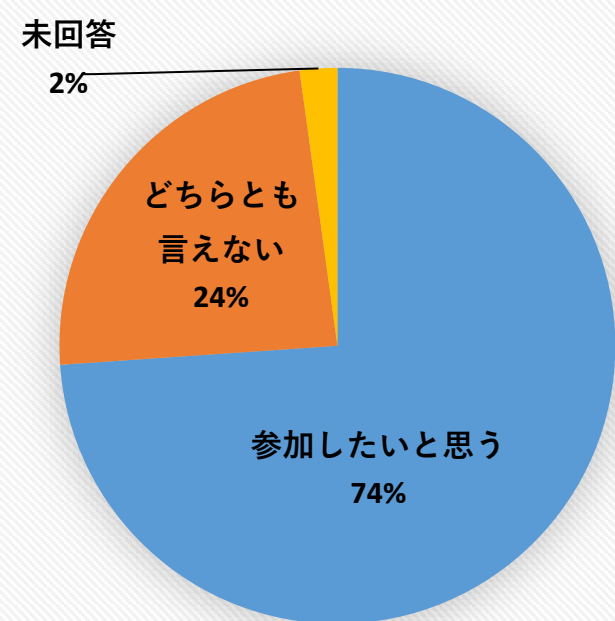
10. 質疑応答は



11. 本日の市民公開講座は



12. 次回の市民公開講座に



13. 市民公開講座を継続すること

